

# 第6回所沢市放課後児童対策協議会

## 会 議 録

令和3年2月17日

様式1号

会 議 録

会 議 の 名 称	第6回所沢市放課後児童対策協議会
開 催 日 時	令和3年2月17日(水) 午後1時15分から午後2時30分まで
開 催 場 所	市庁舎 高層棟6階 604会議室
出席者の氏名	(会議録別表1)のとおり
欠席者の氏名	戸村 達男
説明者の職・氏名	
議 題	(1) 答申について (2) その他
会 議 資 料	(1) 答申(案2) (2) 諮問書(写)
担 当 部 課 名	こども未来部 部長 町田 真治 こども未来部 次長 内野 孝雄 青少年課 課長 三上 佳明 主査 相笠 豊 田中 智子 主任 小貫 多加志 原 勇介 学校教育課指導主事 岩土 陽裕 主査 波多野 健一 電話 04(2998)9103

## 所沢市放課後児童対策協議会委員 名簿

	種別	名前	出欠席 状況	所属等
1	(1) 公募による市民	倉片 英治	出席	
2		中村 大介	出席	
3	(2) 関係団体の代表者	高田 美智子	出席	民生委員・児童委員連合会 (吾妻地区会長)
4		渡辺 昭子	出席	青少年育成所沢市民会議 (青少年育成推進員協議会会長)
5		玉井 逸朗	出席	P T A 連合会 (柳瀬中学校 P T A 会長)
6		松本 弘	出席	自立支援協議会 (社会福祉法人藤の実会)
7		金丸 慎一郎	出席	放課後児童健全育成事業者 (株式会社がくどう舎)
8		小沢 貞泰	出席	放課後こども教室実施校(北秋津小学 校ほうかごところとんぼキッズ)
9	(3) 知識経験を有する 者	笹井 宏益	出席	玉川大学大学院研究所教授
10	(4) 所沢市立小学校の 校長	戸村 達男	欠席	所沢市立小中学校校長会 (所沢市立所沢小学校長)

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>1 開 会</p> <p><input type="checkbox"/> 傍聴者入場（1人）</p> <p><input type="checkbox"/> 会議資料の確認</p> <p><input type="checkbox"/> 会議成立の報告 欠席者1名。出席委員が、委員総数の過半数を超えていることを確認し、会議が成立したことを報告した。</p> <p><input type="checkbox"/> 本日のスケジュール及び進行について 本日は任期中最後の協議会であり、本日の会議において、答申をとりまとめ、会議終了後に、会長と副会長から市長へ答申を提出する予定である。</p> <p>2 議 事</p> <p>(1) 答申について</p> <p>(2) その他</p> <p>(1) 答申について</p>
会長 事務局	<p>それでは、議事1について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>事務局より、はじめに資料2「諮問書（写）」を使いながら諮問の確認、資料1「答申（案2）」を使いながら、前回との変更点を説明した。</p>
会長	<p>「答申（案2）」については、事前に各委員へ郵送し、内容の確認をお願いした。何か意見等はあるか。</p>
委員	<p>重点事業6の「制作後10年が経過し、部分的な見直しを」という部分がカルタを変えるという意味に捉えられる。カルタ自体は良いので活用方法を変更するようにして頂きたい。「それを活用した行事を行っていることは評価できるものの、制作後10年が経過し、部分的な見直しを行ってもよいと考える。他市の取り組みや行事等を参考にして、新たな方向性を検討することを期待する。」という部分を「活用した行事を行っていることは評価できる。ふるさと所沢を親子で再発見するという姿勢を崩さず他市の取り組みや行事等を参考にして、活用方法を見直し、新たな方向性を検討することを期待する」に変更して頂きたい。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、「部分的な見直し」という表現がカルタを指しているのか事業を指しているのかわかりづらいので、ご指摘のとおり修正したい。</p>

委員	カルタに関して賛成ではない。カルタ自体は悪くはないが、カルタが良ければトランプ、すごろくはないのかという話になってくる。所沢に関する教育は授業で十分に行っている。カルタを推し進める必要があるのか。事業全体の見直しを図っても良いのではないか。
委員	「親子で」という文言が答申に追加されることに賛成。子供は所沢に関して学ぶ機会はあるが、親は世帯を構えてから所沢に引っ越してきたり、二代目というケースもあり、所沢のことをあまり知らないと思う。「親子で」というキーワードは外さないほうが良い。
委員	この重点事業6以外に、もっと労力を注ぐことがあるのではないか。以前に意見で「教室の一時利用をする際に保育場所が離れ職員の目が届かない場所が予見できる」や「職員による不祥事が起こらないように」や「主要な場所に防犯カメラを配置しWEBに配信しスマホなどで確認できる取り組みはできないか」などの意見があった。同じように思っている親も多い。そういった課題がある中で、カルタを推し進めるのはいかがなものか。
会長	委員の意見は、カルタそのものは引き続きあっても良いが、熱心に進める必要はないのではという内容でよろしいか。
委員	他の事業との優先順位を考えて進めて欲しい。カルタを取り組むことは、優先順位が高いのか。
会長	カルタ、トランプ、すごろくなどは時間もお金もかかる。これらは、みんなで所沢の文化や歴史を共有するための親子遊びのツールである。カルタでもトランプでもすごろくでも良い。しかし、新しい物を作るのは大変な労力である。中長期的に考えていく必要がある。今の時点ではカルタの活用方法を考え、今回の答申には文章として載せないが、中長期的には協議会としてカルタ以外のツールを考えていくということではいかがか。
委員	児童クラブでは、郷土カルタは子供たちに浸透しており、十分役割を果たしていると思う。今後も続けて行って欲しい。活用という部分では、例えばふるさと納税の返礼品にする、所沢の土産店においてもらう等考えてみても良いのでは。
委員	安心安全をしっかりと、という意見は理解できる。「親子で一緒に」という部分が大事だと思う。いろいろな子育ての支援がある中で、親子で一つのことを語りあえることが大事である。近年、親と子供の会話が少ないのではないか。子供にしっかり関わっている親と、そうでない親のギャップが大きいと感じている。親子で一緒に何かをするという、きっかけづくりはとても大事である。活用方法を考え、事業の一つとして残してほしい。
会長	諮問の内容は、ふるさと所沢再発見事業について検討してくださいというもの。この諮問に対し、協議会として答申を出すこととなっている。その他に新たな事業を提案することではなく、この事業についてどう考えるかを答えて欲しいとい

委員	<p>うものである。協議会の意見としては、活用方策を充実していくことのでいかがか。あわせて、事業内容を中長期的に改めて検討していく必要があるとの意見は議事録として残し、今後、検討していくことのでいかがか。</p> <p>この重点事業は、6つにしてから時間が経っている。重点事業の追加や優先順位の見直し時期にあると思う。</p>
会長	<p>答申の内容は先ほどの意見を踏まえ修正し、そのほかに事業の見直しが必要との意見があったことは、記録を残していただきたい。</p>
会長	<p>別の事業に関して、意見はあるか。</p>
委員	<p>重点事業2の「「ほうかごところ」の継続と今後の検討について」という文と、「今後のほうかごところの継続を含めたあり方について、国の動向等も踏まえながら、検討していくことを期待する。」という文に関して。この表現だと継続することに否定的であると捉えられかねない。「学校生活との連続性や安全で安心な子どもの見守りが行われていることから高い評価を得ている。」と書いてあるので、「継続を含めた」と書いてしまうと少し強いような気がする。もしくは、ほうかごところは地域の方の協力によりうまくいっているので、「国の動向等も踏まえながら」という所を、「国と地域の方の意見を踏まえながら」という表現に変えたほうが良いのでは。</p>
会長	<p>継続という言葉を取るということか。</p>
委員	<p>継続を含めたあり方についてと書いてしまうと、継続に対して否定的とも受け取れる。少し強い表現のように感じる。</p>
委員	<p>私は指摘のあった文章について異なる理解をしている。「継続を含めたあり方について、国の動向等も踏まえながら」というのは、重点事業3の放課後子ども総合プラン推進事業の一体型・連携型も含めて、国の動向等も踏まえながら考えていくと理解した。この文章は、ほうかごところを無くすというよりは、一体型連携型と絡めて推進していくと感じた。文章の捉え方の問題だと思う。</p>
会長	<p>全体を検討していくと捉えたということか。</p>
委員	<p>そのとおり。</p>
委員	<p>「継続」と「今後」が並列であると考え、ほうかごところは無くしたほうが良いという捉え方になるのではないか。「継続を含めたあり方」という部分を「継続を含めた今後のあり方」や「継続を含めた全体のあり方」という表現にすれば並列ではなくなる。「今後の」や「全体的な」という表現を「あり方について、国の動向等も踏まえながら、検討していくことを期待する。」の前に置くことで誤解はなくなるのでは。</p>
会長	<p>「今後のほうかごところの継続を含めたあり方について、国の動向等も踏まえながら」という表現を「ほうかごところの継続を含めた今後のあり方について、国の動向等も踏まえながら」としたら、全体を検討しているという意味合いがで</p>

	てくるのでは、という意見だがいかがか。
委員	賛成。何か変える際は地域の方の意見も汲んでいただきたい。
事務局	「今後の」の位置を修正する。
委員	「継続のあり方」を「継続方法を含めたあり方」のようにしてみてもどうか。
会長	「ほうかごところの継続を含めて、今後の全体のあり方」という表現にしたほうがいいのか。
委員	継続だけだと継続のあり方みたいにつながって、継続に否定的と読めてしまうので、「継続方法」のように言葉を何か足したら意味が変わるのでは。
会長	「ほうかごところの継続方法を含めた今後のあり方について」という表現でよろしいか。
事務局	「あり方」という言葉自体に今後の継続方法も含まれていると考えているかがか。
委員	「あり方」という表現だと有り無しという意味に取れてしまうのではないか。
会長	「あり方」という表現には方法や内容、手法、あるいは事務体制、推進体制など全体が入り良いと思う。「方法」というとどのような形で継続していくのかということが主体となる。全体を検討するのであれば、「あり方」という表現の方が良いと思うかがか。
委員	「あり方」という表現で良い。
会長	他に意見があるか。
委員	個別の意見において、防犯カメラをつけるなどの子供の安全に関する意見があったが、これを全体に反映できないか。
会長	具体的には、どの事業に入れるのが良いか。
委員	具体的な事業はないが、この意見をどこかに反映すべきではないか。
会長	重点事業2に「学校生活との連続性や安全で安心な子どもの見守りが行われている」とある。また重点事業1にも安全に関する記述がある。
委員	答申内容を見ると、環境の整備や技能の向上とあり、含まれるといえは含まれる。しかし、そういった意見があがっていたことを、市長にも知ってもらったほうが良いのではないか。
委員	重点事業のどれかに入れてしまうと、その事業でそういった問題が起こっていると誤解されかねない。総論として、子供の安心安全を訴えている保護者がいるということを含めようとする、今回の答申の骨格が崩れる。この重点事業6つを考え始めてから時間がだいぶ経った。この重点事業6つ自体を見直したほうがよいのではという事態が世の中で起こっているならば、新たな項目として考えてみてもよいのではないか。今回の答申には入れられないが、行政サイドに重点事業のピックアップの見直しを含めて検討していただくのはどうか。
会長	本協議会の役割は、諮問に対しての考え方を示すこと。重点事業1などに安心

<p>会長</p>	<p>安全に関する記載があり、行政としては当然のことと理解していると思われる。今回の答申案を、現時点で大幅に修正することは差し控えたい。</p> <p>それでは、先ほどご意見いただいた修正箇所を修正し、答申を確定する。議事1に関しては以上とする。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>(2)その他</p> <p>続いて議事2「その他」について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>まず、1点目、副会長に出席いただいている「令和2年度子ども・子育て会議」について、その報告を、副会長よりいただきたい。</p>
<p>副会長</p>	<p>前回の協議会でも説明したが、今年度の子ども・子育て会議は基本的に書面でのやり取りとなっている。2月12日に予定されていた子ども・子育て会議も事前に資料が送られてきて、そこに意見を求めるフォームがあり、それが一度集約され、それをまた委員で検討している段階である。最終的に今年度中に来年度以降の部分が確定していくことになる。引き続き、子ども・子育て会議に関しては本協議会を通じて報告していく。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>事務局から何か補足などあるか。</p> <p>特にない。</p>
<p>会長</p>	<p>副会長には、本協議会の代表として大変ご尽力いただいた。この場を借りて、お礼申し上げます。</p> <p>それでは、引き続き、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>2点目、会議の冒頭でも説明したが、本日15時より、会長、副会長には、本協議会を代表し、本協議会の2年間の成果である答申を、市長へ提出いただくようお願いしている。</p> <p>3点目、委員の任期は、令和3年6月30日であるが、本日の会議にて、本協議会に対する市長からの諮問事項に関する審議が終了し、会議の開催は本日が最後となる。2年間にわたり、委員には大変多くの時間をいただき、熱心な審議をいただいた。改めて、心よりお礼申し上げます。なお、新年度になると、新たに委員を委嘱することになり、関係団体に対しては、委員の推薦をお願いする予定となっている。</p>
<p>会長</p>	<p>4点目、青少年課より放課後児童対策の現状について報告する。</p> <p>お配りした資料「放課後児童クラブ通信」をご覧ください。</p> <p>こちらは放課後児童クラブで働く職員の方に向けて、市の取り組みを周知するために発行している。昨年9月に創刊号を、12月に第2号を発行し、クラブの職員や運営事業者から好評だった。</p> <p>～事務局より、通信の内容に沿って市の取り組みの紹介～</p> <p>以上をもって、全ての議事を終了とする。</p>



<p>会長</p>	<p>議事は終了したが、まだ少し時間に余裕があるので、最後に各委員より一言ずつ挨拶をお願いしたい。        ～各委員より挨拶～        それでは、進行を事務局にお返しする。</p>
<p>事務局 部長 事務局</p>	<p>3 閉 会        閉会にあたり、こども未来部長より、委員の皆様にお礼の挨拶をする。        ～挨拶～        以上をもって、第6回所沢市放課後児童対策協議会を終了とする。        2年間という長い期間にわたり、審議いただいたことに感謝する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>